

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	English D		
英文授業科目名	English D		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目Ⅰ		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	社本 雅信		
居室	東1-807		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shamoto@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
1. 英文法を活用しながら、英語の表現力を向上させる 2. 語彙・音声面の強化 3. 自由英作文にチャレンジ

【前もって履修しておくべき科目】
「なし」

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
ユニーク英作文1 (成美堂、800円) 5分間英語発音 (南雲堂、900円)

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

基本的には、前期の授業内容と変わらないが、各自に自由英作文を課して、なお一層英語の表現力を強化する。

将来、英語で自分の考えを口頭で発表したり書いたりする機会が増えてくるであろうが、そのためのウォーミング・アップ的要素を持たせる。

また、英語の発音とスペリングとを関連させながら、語彙・音声面の強化を図る。

授業では、数多くの学生諸君を指名する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期終了後の成績を100%としたとき、期末定期試験の占める比率は70%から75%、平常点を25%から30%とする。

平常点には、小テスト(3から4回程度)、発表のでき具合、授業に対する取り組み方、出席率が含まれる。

なお、1) 小テストを欠席すればその分は零点として扱い、

2) 欠席が前期授業回数の3分の1を超える場合は、定期試験の受験資格を失う。

【オフィスアワー：授業相談】

金曜日4時半から5時10分

【学生へのメッセージ】

1. 英語はピアノの練習と同様に、毎日少しずつ継続的にやることが大切。
2. 今からLDCE、OALDのような英々辞典を使い、英語で考える習慣をつけよう。
3. 書籍は学生の命。自分の部屋を本で埋め尽くそう。

【その他】